



中京大学経済学部

データサイエンティスト育成プログラム (DSP)

「DSP」とは何か

「中京大学経済学部データサイエンティスト育成プログラム (DSP)」は、データ駆動型社会/Society 5.0といった社会変革を見据えた、新たな時代の**数理・データサイエンス・AI教育**です (希望者選択制)。データから新たな価値を創造する「データ活用力」を養い、所定の基準を満たした修了者には**認定証**を発行します。

中京大学経済学部のカリキュラムは、**時代に即した適切な技能と時代に関わらず不可欠な普遍的能力**のその両方の獲得を目指しています。経済学の**専門的知識 (ドメイン知識)**だけでなく、**エグゼクティブ・プログラム (EXP)**において**ジェネリック・スキル**を、このDSPにおいて**データ活用力**を養うことで、どのような時代・場面においても、**産業界・官公庁で活躍できる実力と行動力**を兼ね備えた**経済リーダー**となることを目指します。



「DSP」に内包される「MDASH応用基礎」

「データサイエンティスト育成プログラム (DSP)」の中に、「中京大学経済学部数理・データサイエンス・AI**応用基礎教育プログラム (MDASH応用基礎)**」が含まれます。

「MDASH応用基礎」は、文部科学省が示す基準に準拠した科目から構成されるプログラムであり、**全学生を対象とする基礎的教育プログラム**として位置付けています。

「DSP」は、希望者選択制の「MDASH応用基礎」の上位プログラムです。社会に出てからも時代を切り拓く能力を獲得するための、**発展的教育プログラム**として位置付けています。

「MDASH応用基礎」と「DSP」の配当年次と修了要件

「DSP」は、経済学部が開講する**15科目29単位の授業**で構成されています。そのうち3科目5単位の授業は、「MDASH応用基礎」の科目となります。「DSP」は各人の興味関心や進路希望に応じて授業を選択できます。また、2年生秋学期または3年生春学期で修了することができるため、**就職活動にも活かすことができます**。両プログラムの修了要件は次の通りです。

「MDASH応用基礎」修了要件

[M]3科目5単位を全て修得

「DSP」修了要件

DSP必修科目

「★7科目13単位を全て修得」

DSP選択科目

「その他 (無印) 8科目16単位中**5科目10単位以上**取得」

※「データサイエンス演習」は1単位科目。その他は全て2単位科目。

配当学期	統計学・計量経済学科目	データサイエンス関連科目	数学科目
1年春	★[M]計量経済学入門 データから見た経済		★経済数学Ⅰ
1年秋	★統計学の基礎	★[M]データサイエンス基礎 ★[M]データサイエンス演習	★経済数学Ⅱ
2年春	★計量経済学Ⅰ		経済数学Ⅲ
2年秋	計量経済学Ⅱ 統計学	データサイエンス応用	経済数学Ⅳ
3年春		アンケート調査法 データアナリシス	

上記のDSP科目は、経済学部の学部固有科目であり、経済学部の卒業所要単位にも算入されます。卒業要件は、経済学部の学生便覧 (履修ガイド) を確認してください。

★ : DSP必修科目
[M] : MDASH応用基礎必修科目
無印 : DSP選択科目

「MDASH応用基礎」と「DSP」の参加・修了 (認定証発行) の手続き

参加登録は不要。プログラムに含まれる科目を履修登録することで自動的に参加しているものとみなします。所定の単位を取得した場合は、学生による申請を経て**認定証**を発行します (デジタル方式の「オープンバッジ」を予定)。
申請方法は2027年度末頃にMaNaBo等にてアナウンスを行います。

「DSP」の特長

- ・新たな時代を切り拓く「データ活用力」を育成する数理 / データサイエンス / AI教育
- ・データの取得・分析・実装の全てのフェーズを網羅
- ・従来型の統計学・計量経済学の領域を超えた新時代の実践的学修
- ・プログラミングの演習でスキルだけでなく、論理的思考力や創造性、問題解決能力も育成

授業Pick Up

データサイエンス基礎

歴史から最新動向まで
データサイエンスの全体像を把握する

データ駆動型社会においては、数理・データサイエンス・AIが欠かせない基礎教養となります。これらの基礎知識を学んだ後、実際にコンピューターを用いて扱う方法を学びます。

授業Pick Up

データサイエンス演習

プログラミング言語「R」で
統計分析スキルや論理的思考力を獲得する

プログラムの基本構造である「順次」「分岐」「反復」を組み合わせながら、目的を達成するためのプログラムを自ら考え、実際に手を動かしてプログラムを完成させる訓練を積みみます。

授業Pick Up

データアナリシス

データ分析で
実社会の課題解決にアプローチする

1・2年次に学んできたプログラミングや統計学・AI等の知識を活かして、企業の課題解決やEBPM（データや根拠に基づいた政策立案）に寄与する高度なデータ分析に取り組みます。



日本統計学会公式認定「統計検定」の活用

日本統計学会公式認定「統計検定」は、総務省・文部科学省・経済産業省・内閣府・厚生労働省が後援する統計学に関する資格試験です。特に統計検定2級は、大学基礎レベルの統計学を習得していることを客観的に示すことができるものとして、近年認知度や受験者数が増大しており、取得を推奨する企業も増えています。DSP科目において、学修意欲の向上ならびに教育の外部質保証として統計検定試験を活用しています。

DSP科目である「データから見た経済」や「統計学の基礎」では、統計検定3級の試験結果によって成績評価時に加点を行います。「統計学」では主として統計検定2級試験結果を用いて成績評価を行います。

今やデータサイエンス能力は 全てのビジネスマンに 求められている！

特に、マーケティングや商品企画において統計学は必須の知識。IT産業はもちろんのこと、金融業や地方自治体などでもデータ分析能力を持った人材は優遇されています。

実際に、例えば三菱UFJ信託銀行では、社員に統計検定2級取得を推奨し、取得社員に対して報奨金を支給しています。

さまざまな職種で今求められている データサイエンス能力



データサイエンティスト



マーケティング



商品企画



広報



営業



データエンジニア



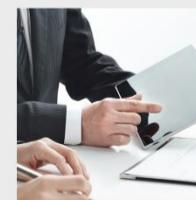
生産管理



コンサルタント



政策立案



研究・リサーチ

「DSP」や「MDASH応用基礎」に関する質問等のお問い合わせ先

MaNaBoにDSPの特設ページ（クラス）を設けますので、そのページ内にある「教員にメールを送る」機能から質問等の問い合わせをしてください。もしくは、中京大学名古屋キャンパスの教務センター（5号館1階）にお尋ねください。

関連情報サイト

中京大学経済学部「DSP」について：<https://econo.chukyo-u.ac.jp/about-cuse/dsp/>
日本統計学会公式認定「統計検定」について：<https://www.toukei-kentei.jp/>



DSPについて



統計検定について